

BEAUTY IN MIRRORS

—WHAT MIRRORS REFLECT THE MUSEUM YAMATŌ BUNKAKAN

東アジアの鏡にみる

祈りと願いがこめられた美



鏡中之美 —鏡が映しだすもの

2020年 8月21日(金) — 10月4日(日)

休館日 毎週月曜日(ただし9月21日・22日(祝)は開館し、23日(水)が休館)

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)

入館料 一般630円/高校・大学生420円/小学・中学生無料

※20名以上の団体は相当料金の2割引き(引率者1名無料) 押障がい者手帳をお持ちの方とご同伴者1名2割引き

◆新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別講演、日曜美術講座、列品解説、華文コンサート、近鉄沿線無料招待デー(9月16日)は実施いたしません。

大和文華館【奈良・学園前】

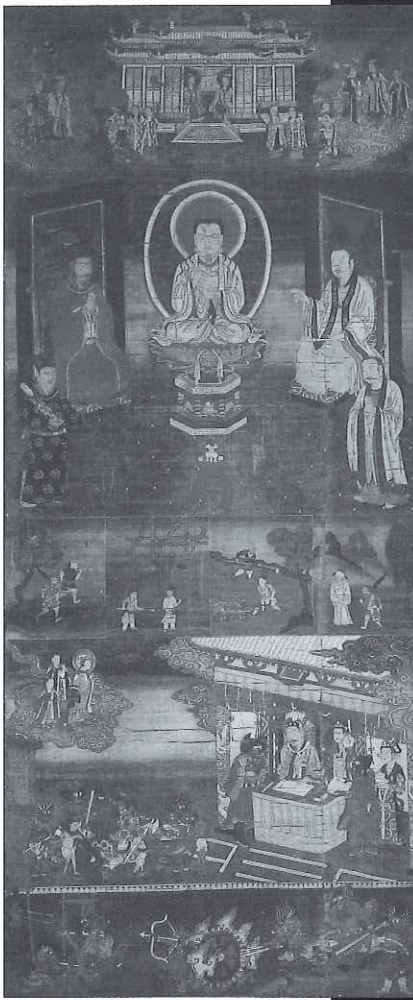
中央：銅製貼銀鍍金双鳳狻猊文八棱鏡 重要美術品 中国・唐代 背屏：白磁茶盤(部分) 重要文化財 日本 鎌倉時代

鏡中之美—鏡が映しだすもの

鏡に映し出される姿は真実か幻か…。光を反射し、ものを映す鏡は、古来人々にとって不思議な力を持つ存在であり、鏡は様々な場で用いられました。鏡は魔力を持つとされて辟邪や護法の道具として用いられ、日本において鏡は神の依り代ともなります。鏡中に神仏の姿が見いだされ、一方では自らの姿を映じて人生や恋心を投影することも行われました。

また、鏡の背面は美しい文様で飾られ、時代によって様々な意味や願いが込められました。漢時代の中国では、鏡背文様が当時の世界観があらわされ、唐時代には東西交流を反映した華やかな動植物文様や人物故事図が取り入れられます。日本では平安時代に雀や秋草などを散らした瀟洒な文様が好まれ、鏡が飾られました。身近な存在となった鏡には、時代の美意識が鮮やかに映し出されています。

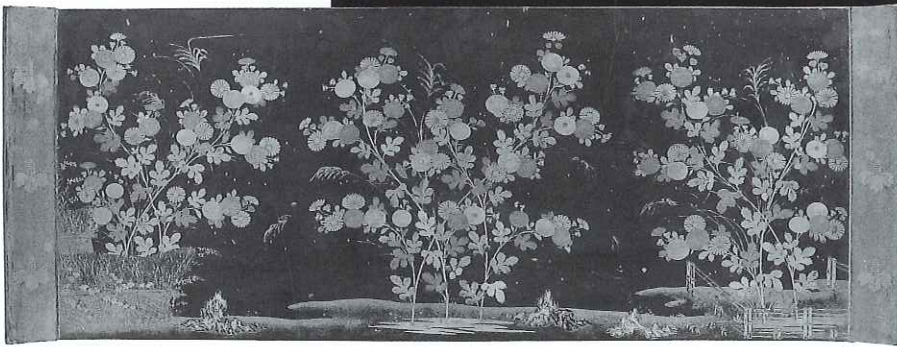
本展覧会では、中国・日本・朝鮮半島で作られた鏡そのものや描かれた鏡、鏡を納める漆箱を展示し、仏具や辟邪として用いられた鏡の信仰や人々の生活とともにあった鏡について見ていきます。美しい文様で飾られた鏡に映し出された、人々の様々な想いを紐解きます。



六道図 中国・元時代



十王図 日本・南北朝時代



蒔絵籬菊文机(天板) 重要文化財 日本・室町時代



蒔絵宝相華唐草文輪花鏡巢 日本・鎌倉時代

Exhibits mirrors made in China, Japan, and the Korean Peninsula, mirrors that have been drawn, and lacquered boxes that store mirrors. It will unravel people's various thoughts that are reflected by mirrors, such as belief in mirrors as Buddhist objects or as items to protect oneself against evil.

BEAUTY IN MIRRORS—WHAT MIRRORS REFLECT

大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

(交通) 近鉄奈良線学園前駅下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

大和文華館 検索 @yamatobunkakan

